

ビーリンサイト®

取り扱いマニュアル

2025年1月 がん薬物療法検討部会
2025年3月 改訂

運用について

- ・ 1コース目は入院。1コース目途中から在宅用ポンプへ切り替えることはある。基本的には2コース目から在宅ポンプへ移行する。患者の適応については在宅で安全に管理ができるか、主治医が判断する。
- ・ 在宅用ポンプの場合、更新時間は15時で統一
- ・ 外来の曜日により、3日レジメンと4日レジメンがあり、流速が変わるため注意する。
- ・ シャワー中も点滴は止めない
- ・ 外来：同時期に2人以上患者が重なる場合には、診察なしで来院する時間を30分ずつずらす。（混注に時間を要するため）

【診療報酬】

医師：在宅腫瘍化学療法注射指導管理料、携帯型ディスプレイポータブル注入ポンプ加算、注入ポンプ加算の3件を月に1回算定

病棟看護師：退院時に在宅療養指導料（170点）算定

ケモ室看護師：点滴伝票にSPD赤シールが貼られていることを確認する

【物品について】

CADDポンプはケモ室で管理する。鍵は紛失しないように所定の場所へ保管する。ルート類の請求はケモ室から行い（定数管理）、8西には予備分として3セット置いておく。残1セットとなったら、ケモ室へ連絡する。

看護師 セット編

ルートの組み立て

ポート針と逆流防止弁つきエクステンションチューブの間にもシュアプラグをつける。
穿刺する日は、ここで逆血確認をする。

ポート針

逆流防止弁つき
エクステンションチューブ

シュアプラグ

ここまでが
患者さんに
接続されている状態

紫

入口と出口が
逆にならない
ように注意！

フィルター

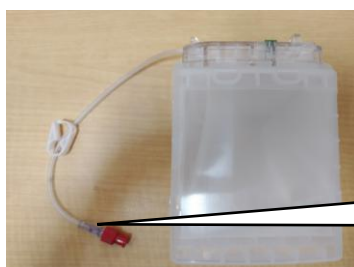
青

エクステンションチューブ

出口【紫】で覚えて！

カセット側
は青！

赤のキャップは外します



Day1, 8, 15, 22に行うこと

【ポート刺し替え】

- ①一旦針を抜き止血
- ②ポート針+シュアプラグを生食10mlで満たす
- ③穿刺し、逆血確認。生食10ml×2本でフラッシュ
- ④ルートを準備する。乾電池交換
- ⑤薬液が届いたらプライミングを行い、ポンプ設定
(プライミングは、逆流防止弁つきエクステンション
チューブまで満たす)

Day4, 11, 18, 25に行うこと

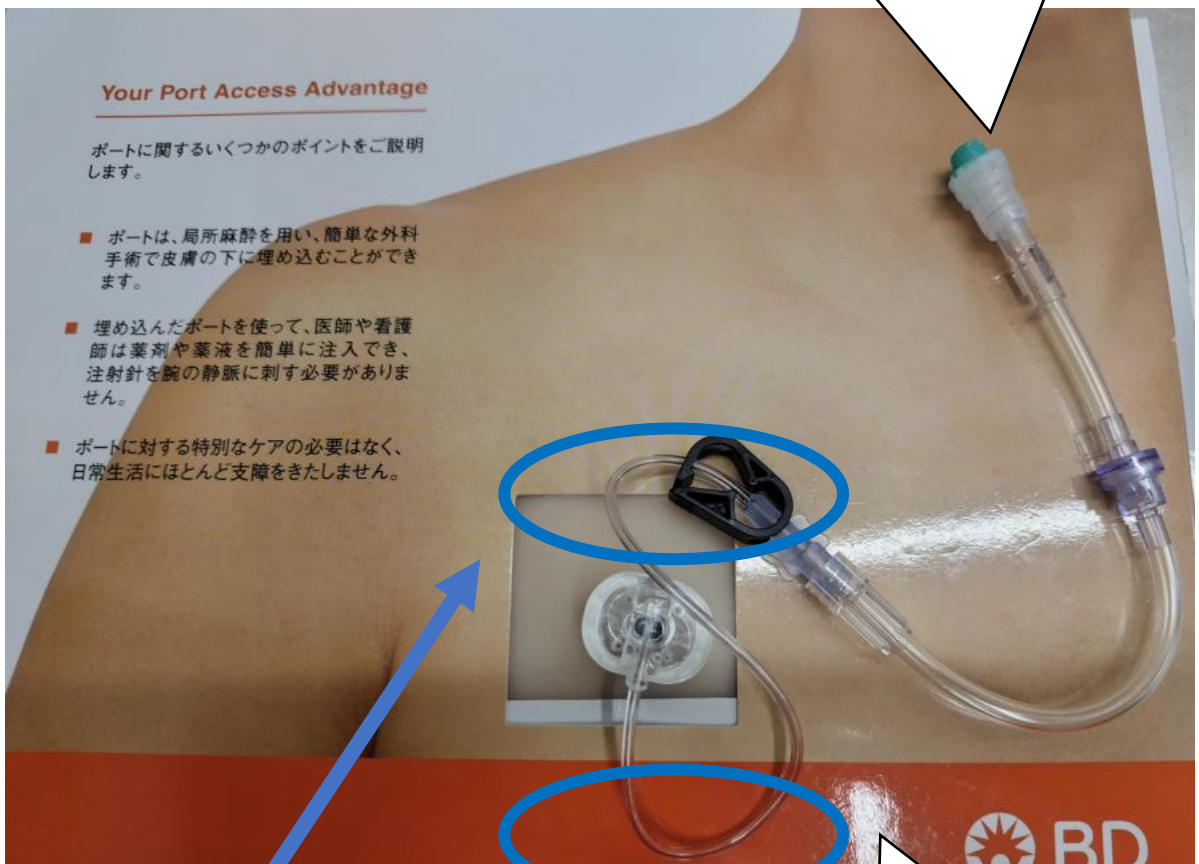
【ポート刺し替えは**不要**】

- ①逆流防止弁つきエクステンションチューブまでを患者側に残し、フィルター+エクステンションチューブ+薬液カセットは、外して破棄する。
- ②ルートを準備する。乾電池交換
- ③薬液が届いたらプライミングを行い、ポンプ設定
(プライミングは、フィルターまで)

CVポート固定

使用するテープはIV3000(大)で統一
カバー範囲が不足すれば、IV3000(小)も追加
※かゆみがあれば、ドレッシング剤は適宜変更する

逆流防止弁つきエクステンションチューブは
上向きになるようにして固定
(※逆血予防に効果)

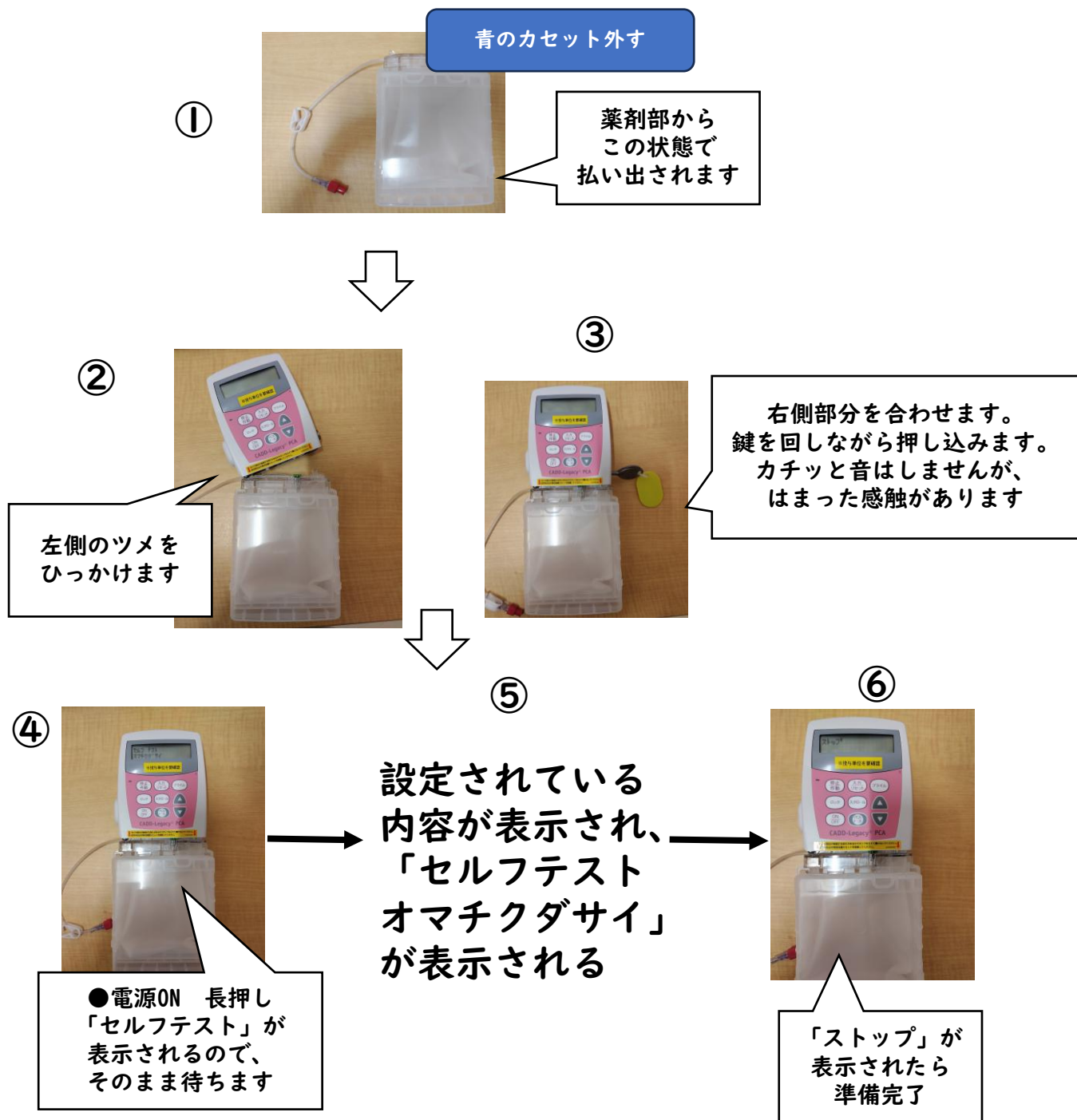


ここ
ここ

長さにもよるが
可能であれば2か所ループ、
難しければ1か所ループをつくる

ポート針を固定するIV3000は、ふわっとかぶせるよう、
余裕をもって貼付する！
ピンと張った状態で貼付しないこと！！

CADDポンプ準備（電池交換も忘れずに）



CADDポンプ設定（初回のみ）

すでに設定は済んでいます。病棟・外来は確認のみでOK
ロック機能はOFFにしています

ロック画面LL0
163
気泡検知：OFF⇒入力

気泡はフィルターでキャッチされるのでOFFでOK

ロックLL0
163
アップストリームセンサー：OFF

閉塞検知
スタンダード

この3つが初回設定されている状態です

CADDポンプ設定（毎回やること）

①

セルフテスト
が終わる
↓
画面は
「ストップ」
の状態
または
ドゥサチュウ
0mlの状態

②



- スクロール押す
リザーバヨウリョウ
に容量を入力
250mlと入力
- 入力/リセット押す

③



- スクロール押す
トウヨタンイ
ミリリットルを確認
- スクロール押す

④



- トウヨソクドに
流速を入力
(3日目・4日目注意)
- 入力/リセット押す

⑤



- スクロール押す
ドーズリョウは
0.00のままでOK

⑥



- スクロール押す
トウヨズミ
リセット長押し
0mlと入力
- 入力/リセット押す

⑦

- スクロール押す
キホウケンチOFF
- スクロール押す
アップストリームセンサ
OFF
- スクロール押す
ヘイソクケンチカンド
Standard

●スクロール押す
ストップ
まで表示されたら
設定入力終了

●停止/作動で
投与スタート!

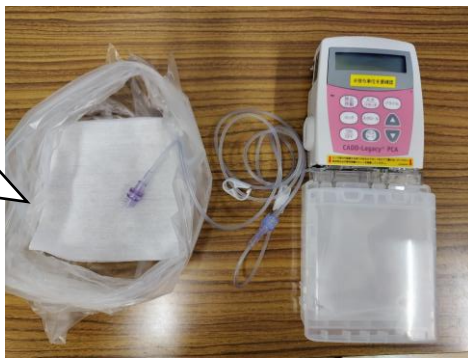
カセット更新時のポイント!

- ① トウヨズミを選択⇒リセット長押し
「0mlにする」
- ② リザーバヨウリョウ⇒リセット長押し
「250ml」にする

プライミング

曝露予防

ビニル袋にセコンターゼを置き、スピルをキャッチ

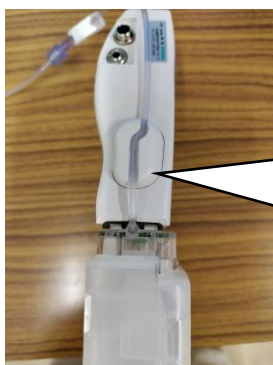


●プライム長押し
一旦指を離してもう1回押す
ルートを満たす

※途中で止まりますが、再度
長押しして下さい

これで
準備完了

気泡について：検知OFFでOK



気泡検知はOFFに設定するため
この場所に通す必要はなし
(外れやすいです)

積算量と流速について



250mlからリザーバーヨウリョウOmlを引いた値
または

●スクロールボタンを押して、
トウヨズミOmlも積算量です
同じ意味です

※病棟：10時の積算クリアの必要なし

流速＝トウヨソクド

●スクロールボタンを押して見ることが出来る

外来通院中の受診フロー

体調不良 → ER 受診 → Dr山田OR Dr鈴木 call

ポンプ不具合 → 平日 8:30~17:15
ケモ室で対応

→ 休日・夜間
8西病棟で対応

患者さんへはパンフレットで下記説明をしています。

■平日8時30分~17時15分までは、大代表に電話し、「ケモ室へ回してほしい」と伝える。

■それ以外の時間は、体調変化の場合「受診したいので、救急外来へ回してほしい」と伝える。

■ポンプやチューブのトラブルの場合「8西へ回して下さい」と伝える。

※8西病棟でCADDポンプ導入した日の担当の方は、

「ビーリンサイトを持ち帰る方へ」*と「外泊・外来治療を受ける患者さんへ」**のパンフレットを患者さんへお渡しし、ご説明をお願いします。

*リンク集→がん薬物療法関連より印刷してお渡し

**8西の在庫がない場合、ケモ室へ連絡下さい

※退院日の担当の方は、上記2つが渡っているか確認し、再度自宅での注意点をご説明して下さい。その記録時に、「在宅療養指導料」を算定して下さい。(Menu⇒指導料オーダー⇒在宅医療)

外来通院中の トラブルシューティング

【平日】 8:30～17:15

患者さん⇒代表番号⇒ケモ室

※もし体調変化で受診必要な場合には、ケモ室から血内外来（内線477）へ連絡し、予約外受診へ

【休日・夜間】

- ・ 状態悪化・変化：ER受診⇒ERよりDr山田・鈴木call
- ・ アラーム・漏出等：ERに入電⇒ERより8西へ転送
⇒8西で電話の対処可能なこと：閉塞・漏出
(アラームが鳴りやまない⇒電源OFFにし、翌日受診)

★金曜夜・土曜夜

翌日に直接8西病棟へ上がってきてもらう。

ルートからの漏出の場合には、ルートを外し、全て取り換えて再開。ドウサチュウになったことを確認し、帰宅へ。

★日曜夜

患者さんへ翌日ケモ室へ直接行くように伝える。8西看護師は、翌朝8西から9時までに、患者さんが来院することをケモ室へ申し送る。

※液漏れ量が多い場合：夜間は、翌朝まで量が足りそうならば一旦帰宅し翌日の受診とする。翌朝8西からケモ室へ申し送りする。来院時ケモ室で、カセットに薬液充填後の重さ（380g+CADDポンプ354g）から現在の量をはかり、次回までの更新に不足しそうであれば、薬剤部へミキシング依頼をするか主治医と相談する。

- ・ 逆血：逆流防止弁やフィルターに血液が付着した場合は交換する
- ・ 投与終了アラームが予定より早く鳴る：リザーバー容量の設定をカセットの薬液充填より少なく設定してしまった可能性あり、リザーバー容量と積算量を確認。間違って設定されていた場合は再設定。
- ・ CADDポンプの破損等：ME室に1台CADDポンプあり。休日夜間であればそれを使用。翌日以降、業者へ連絡する。8西の場合、ケモ室へ申し送り。ケモ室から、八神製作所（担当椿原さん：080-1570-9236）へ連絡する。

チェックリスト Nsが2人で確認すること

- 乾電池を交換した（火曜・金曜両方）
- 流速は次回更新日を確認し、3日後なら3.3ml/h、4日後なら2.5ml/hで設定されている
- Day1, 8, 15, 22：CVポート穿刺、刺入部周囲チェック
- ルートの接続は写真と同じになっている（青と紫が逆になっていないか）
- ルートの接続部にゆるみがないか
- クランプは全て解放されているか
- ルートに屈曲がないか
- ドウサチュウになっているか



- 更新時、トウヨズミ→入力リセット長押し→0mlになっているか
- 診療報酬：医師は月1回算定。病棟看護師は退院時に「在宅療養指導料」コストをとっているか

ビーリンサイトを
持ち帰る方へ

チェックポイント



ここだけは
見ておいて下さい！
小さいパンフレットも
参考にして下さい！



□画面に「ドウサチュウ リザーバ0ml」が表示されている

□CVポートの針周囲 赤い・痛い・腫れている
がないか

□チューブが閉塞しているところがないか

□チューブの接続部から液が漏れていないか

□ポンプの機械が破損していないか

Q&A

Q. 外出はして良いですか？

A. OKです！ケースに入れて持ち運びましょう。

Q. 入浴はどうすればいいですか？

A. まず、ポンプケースをビニル袋に入れます。

CVポート刺入部は濡れないようにすればカバーは不要です。入浴は半身浴が安心です。

Q. 病院へはどのように連絡すればいいですか？

A. 平日8時30分～17時15分までは、大代表に電話し、

「ケモ室へ回してほしい」と伝えて下さい。それ以外の時間は、体調変化の場合「受診したいので、救急外来へ回してほしい」と伝えて下さい。ポンプやチューブのトラブルの場合「8西へ回して下さい」と伝えて下さい。

閉塞

「コウアツアラーム」
「ヘイソクアリ」
と表示が出たら？



①  ボタンを押します。

② ルートを端から端までたどり、折れ曲がっているところがないか確認します。

③ 折れている所があれば、真っすぐにします。

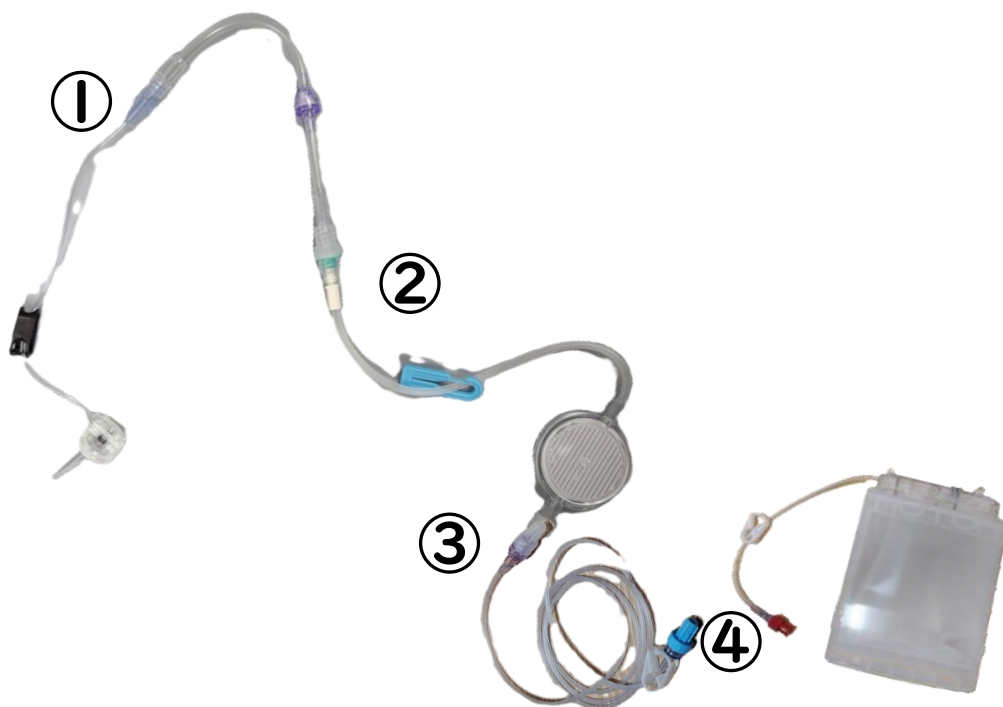
④  ボタンを押します。

⑤  ドウサチュウ リザーバ0ml

と表示されていればOK

接続部から薬液が漏れる

なんだか、液が漏れているみたい？と思ったら…



①CVポートと2番目のルートにゆるみがないか確認してみる

②2番目のルートとフィルターがついているルートにゆるみがないか確認してみる

③フィルターの先と、長いチューブの接続にゆるみがないか確認してみる

④長いチューブとカセットのチューブの接続にゆるみがないか確認してみる

①～④すべてゆるみがなく、それでも薬液が漏れていそうであれば、病院に電話する

※薬液が本人や家族に付着した場合は流水と石鹼で洗い流す。汚染された衣類は単独で洗濯

ポートが抜けた

- 針が刺さっていたところから、出血が継続していないか確認してください。
- 出血があれば、絆創膏を貼り、上から圧迫し止血をします。
- 病院へ連絡します。「CVポートが抜けた」と伝えて下さい。

アラーム音が止まらない

- 可能であれば、ポンプの表示をスマホのカメラで撮って下さい。
- 病院へ連絡して下さい。